



笠山

阿久根市立三笠中学校

校訓
自主
協調
持続

生活実践目標
美：場を清める
礼：礼を正す
時：時間を守る

学校教育目標
未来を拓く、心豊かでたくましい生徒の育成

創立1947(創立72周年)
卒業生 10,513人

勝利をめざしてひたすら努力した日々は尊い 校長 四元 清路

「三年の夢は破れし わが校の 選手行く手に テープは見えぬ」これは私が中学3年の時に作った短歌です。私は中学時代、駅伝部に所属していました。駅伝部は私の入学前年に県中学駅伝大会で4回目の優勝を果たしていました。そのため、私たちは常に県大会優勝を目標に掲げ、部員一丸となって毎日毎日走り続けました。しかし、鹿児島市の予選では3年連続圧勝しながら、結局、県では優勝できませんでした。3年生最後の大会、1区を走った私はゴールの鴨池陸上競技場で選手の到着を待ちました(当時の県大会は与次郎ヶ浜周辺で行われていたのです)。そして、アンカーのゴールする姿を見ながら、「3年間の部活動が終わった…」とぼんやり感じたことを覚えています。それは悔しさでもなく、悲しさでもなく、何か今まで張り詰めていた糸が切れたような虚脱感でした。

6月11～12日、地区中学総体が開催されました。県大会出場を懸けた大会、そして3年生にとっては3年間の集大成の大会でした。日頃から頑張っている姿を見てきただけに、「すべての部が勝ってほしい!」と願いました。しかし、勝者がいれば敗者もいるのが勝負の世界です。悔し涙を流し、落胆している姿を見ると何とも声のかけようもありませんが、最後まで勝ち続けるのは1校で他はすべて敗れ去るのが現実です。人生には思い通りにいかないこともたびたびあります。だからといって「どうせダメに決まってる」と最初から諦めて何もしなければ何も生まれません。結果として敗れても、「勝利をめざしてひたすらに努力した日々」があったことは尊いものです。そのことはいつかきっと自分自身の誇りや心の財産となり、その後の人生においても困難をたくましく乗り越えていく底力にもなるはずです。

県大会に出場する生徒は地区の代表として敗れた選手のみまで頑張してほしいし、引退する3年生は部活動で培った力を今後の人生で精いっぱい発揮してほしいと思います。

地区総体 本校の結果

野球 3位 (三笠 14-3 阿久根, 三笠 5-2 米ノ津)

男子バスケット (三笠 52-55 出水, 三笠 39-42 米ノ津, 三笠 24-60 阿久根)

女子バスケット (三笠 48-50 出水, 三笠 34-67 米ノ津, 三笠 48-49 阿久根, 三笠 48-45 野田)

女子バレー (予選リーグ: 三笠・長島 2-0 鷹巣, 三笠・長島 2-1 出水, 三笠・長島 0-2 米ノ津)

(決勝リーグ: 三笠・長島 0-2 阿久根, 三笠・長島 0-2 江内, 三笠・長島 0-2 米ノ津)

剣道 男子団体 優勝 男子個人戦 3位 山田悠翔

柔道 男子団体 3位 個人戦 優勝 坂口海斗・石原美優 2位 濱之上典樹 3位 川上大和



地区総体を終えて… ～ 出場各部キャプテンのひとこと

野球部「試合に負けて悔いが残った。まだできることが一杯あってもっとプレーしたかった。でも、あっという間に終わってしまった。けれども、これからは野球にかかわっていききたい。」 (3年 松木 龍)

男子バスケット部「全員で声を出すというのを決めて臨んだ。大会ではベンチの人も試合に出る人も全員がしっかりと声を出すことができた。負けはしたが力を出しきったと思う。」 (3年 余宮良兼)

女子バスケット部「2日間とも今まで以上に集中できた。1, 2点差で負ける試合もあったが、全員が全力でプレーできて最後にふさわしいゲームだったと思う。これからは部活動で学んだことを学校生活などに生かしていきたい。」 (3年 京田優月)

女子バレー部「目標としていたベスト4を達成し、2日目まで残ることができてとても嬉しかった。でも、2日目は1勝もすることができなかった。これからは一生懸命練習して、10月の新人戦では優勝できるように頑張りたい。」 (2年 梶尾咲姫)

剣道部「どの学校も県大会への想いが強く、レベルの高い白熱した試合となった。その中で優勝できたことはすごくいい経験になった。地区の代表として県大会も上を目指して頑張りたい。」 (3年 大野優斗)

柔道部「団体戦はなんとか入賞できた。個人戦も全員が県総体に出場できるので良かったと思う。」 (3年 濱之上典樹)